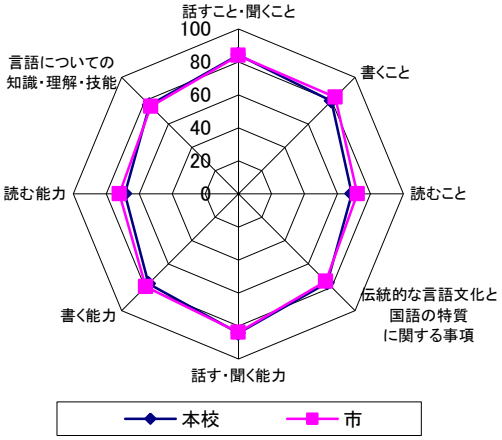
宇都宮市立瑞穂野中学校 第３学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	84.3	83.9	83.1
	書くこと	79.7	82.9	68.6
	読むこと	68.7	72.0	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.1	74.8	68.7
観点別	話す・聞く能力	84.3	83.9	83.1
	書く能力	77.0	79.3	67.0
	読む能力	68.7	72.0	67.8
	言語についての知識・理解・技能	76.0	75.0	68.5

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	正答率は、宇都宮市よりやや高い。 ○　4問中3問の正答率が、宇都宮市より高い。 ●「司会者の工夫を聞き取る。」選択形式の正答率 のみ、宇都宮市より4%低い。	・　今後も話を聞いたり、話したりする態度をきちんと身に付けさせていきたい。特に工夫して話すことができるように意識させていきたい。
書くこと	正答率は、宇都宮市よりやや低い。 ●　全てのねらいにおいて、正答率が、宇都宮市より 低い。	・　指定された文字数、構成で、自分の立場、その理由、自分の考えを書くなど、条件にあった文章を書く機会を増やす。まず、基本の書き方を身に付けさせる。そのうえで、総合的な国語力を豊かにしていき、応用的な文章が書けるようになることを目指したい。
読むこと	正答率は、宇都宮市よりやや低い。 ○「文章の展開に即して内容を捉えることができる」　の記述形式の一部と「新聞記事の内容を読み取る」記述式の問題の正答率は、市よりも高い。 ●「文章の展開に即して要旨をとらえる。」「登場人物の心情をとらえる。」選択形式の正答率は、市より10ポイント以上低い。	・　楽しく読む以外に、表現を分析したり、言葉から想像したりするなど、考えて読む読書の機会を増やすようにさせたい。小学校に比べ、中学校で激減してしまう読書の時間の確保にも努めさせたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	正答率は、宇都宮市よりやや高い。 ○　12ポイントのうち、7つにおいて、市より正答率が高い。「易」の書きと歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す設問の正答率は、市の平均より10%前後高い。 ●　漢字の読みのうち、2問については、正答率が、市より10%前後低い。	・　常用漢字の読み書きを継続的に身に付けられるよう、授業やスタンダードテストなどを活用して取り組ませたい。 ・古典については、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すこと以外にも、苦手意識を無くし、知識を広げられるようにさせたい。